

平成29年7月27日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(66回公演)報告

29.7.26 特別養護老人ホーム 千鳥の丘 本庄市児玉町宮内

本日の公演はメンバーの根岸さんの計らいで初めて訪問する施設です。旧児玉町では6月のオルトビオス児玉に続き今年2回目の公演です。施設は市街地から神川町にほど近い山々が迫った高台にあり、周辺には外にケアハウスやグループホームなど整った総合高齢者施設になっていました。

午後2時からの公演で、1時10分には駐車場に4人全員がそろい施設長の星川さんの出迎えを受け着替えの部屋に通されました。予定時間5分前には30名程の皆さんが既にホール集まり、10名程の職員の方々も準備を終えて開演を待っていました。

前回の公演は舛田さん不在の中で行われ全員寂しい思いをしましたが、今日は本来の全員がそろい、やる気十分、意気の上がった状態で臨みました。

開演に先立ち施設からの紹介があり、その後はマイクを戴き公演を進行しました。まずは舛田さんの「南京玉すだれ」の口上からの始まりです。ほとんどの方が初めての経験のようで、「すだれ」の形状が変わる度に「あ～すごい」と言う驚きの声が上がりました。その後の「玉すだれ」の動きや由来の話、特に33cm程の「すだれ」が5m近くまで延びる姿を目の前にすると、大きな拍手がわきました。各人の得意技をやり次の「きよしのズンドコ節」を演じる時には多くの手拍子が得られました。根岸さんの「サザエさん体操」では、男性職員の方々が積極的に赤いかわいいエプロンを身に付けて参加してくれ、会場は笑い笑顔に包まれました。最後に栗原さんからの「東京五輪音頭」では最後のフィニッシュ時の「玉すだれ」による五輪の形に一段と大きな拍手がわきました。帰り際に舛田さんは97歳のおばあちゃんから「まだまだできるね」と言われ、逆に元気ももらってきました。旧児玉町の市街地に戻りコーヒーを飲みながら今日の反省をやり家路につきました。



